

平成30年度北海道木材需給見込み・令和元年度北海道木材需給見通しについて

1. 概要

- ・木材の総需要・供給量は、平成30年度が787万m³で前年度より20万m³増加(対前年度比102.6%)の見込みであり、令和元年度は759万m³で前年度より28万m³減少(同96.5%)の見通し。
- ・道産材自給率は、平成30年度は58.9%で前年度より1.0ポイント低下する見込みであり、令和元年度は59.3%で前年度より0.4ポイント増加する見通し。

	総計	需要			供給		
		製材用	パルプ用	合板等用	道産材	輸入材	道産材自給率
29実績(千m ³)	7,670	2,632	3,368	1,670	4,592	3,078	59.9%
30見込(千m ³)	7,866	2,533	3,565	1,768	4,633	3,233	58.9%
元見通(千m ³)	7,587	2,404	3,405	1,778	4,498	3,089	59.3%
30見込/29実績	102.6%	96.2%	105.8%	105.9%	100.9%	105.0%	1.0ポイント減
元見通/30見込	96.5%	94.9%	95.5%	100.6%	97.1%	95.5%	0.4ポイント増

2. 平成30年度北海道木材需給見込み

- ・需要量は、製材用が253万m³と前年度から10万m³減少、パルプ用は357万m³で20万m³増加、合板等用は177万m³で10万m³増加の見込み。
- ・供給量は、道産材が463万m³と前年度から4万m³増加、輸入材が323万m³で16万m³増加の見込み。

		30見込 (千m ³)	29実績 (千m ³)	30-29 (千m ³)	30/29	備考
需要	製材用	2,533	2,632	▲99	96.2%	・集成材原板、梱包・仕組板等の針葉樹製材の需要減少 ・構造用の輸入集成材の需要減少
	パルプ用	3,565	3,368	197	105.8%	・道産エゾトド等チップの需要増加 ・輸入チップの需要増加
	合板等用	1,768	1,670	98	105.9%	・輸入広葉樹合板の需要増加 ・未利用材、道外への移出用原木の需要増加
供給	道産材	4,633	4,592	41	100.9%	・パルプ用のエゾトド等の供給増加 ・未利用材の供給増加
	輸入材	3,233	3,078	155	105.0%	・広葉樹合板、針葉樹チップの輸入増加

3. 令和元年度北海道木材需給見通し

- ・需要量は、製材用が240万m³で前年度から13万m³減少、パルプ用は341万m³で16万m³減少、合板等用は178万m³で1万m³増加の見通し。
- ・供給量は、道産材が450万m³と前年度から14万m³減少、輸入材が309万m³で14万m³減少の見通し。

		元見通 (千m ³)	30見込 (千m ³)	元-30 (千m ³)	元/30	備考
需要	製材用	2,404	2,533	▲129	94.9%	・道産針葉樹製材、輸入製材の需要減少
	パルプ用	3,405	3,565	▲160	95.5%	・道産丸太、チップの需要減少
	合板等用	1,778	1,768	10	100.6%	・原木(道産材)、未利用材の需要増加
供給	道産材	4,498	4,633	▲135	97.1%	・カラマツ製材等用の供給減少
	輸入材	3,089	3,233	▲144	95.5%	・広葉樹合板、広葉樹チップの輸入減少

(北海道水産林務部林業木材課)